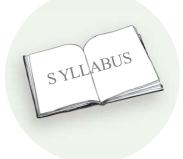




高校生を対象とした公開授業科目(第2学期) 履修案内(シラバス) ~2021年度版~



「シラバス」とは・・・

シラバスとは、各授業科目の詳細な授業計画のことです。 一般に、授業名、担当教員名、講義目的、 各回ごとの授業内容などが記されており、 学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものです。



【お問い合わせ】

香川県教育委員会 高校教育課 教育指導グループ 〒 760-8582 高松市天神前6-1 TEL 087-832-3750 FAX 087-806-0232

香川大学 教育・学生支援部 学務グループ 〒 760-8521 高松市幸町1-1 TEL 087-832-1186 FAX 087-832-1155

※授業内容に関するお問い合わせは香川大学まで。

【公開授業科目(第2学期)】

授業科目名	教養/専門(注1)	担当教員	期間(注2)	曜日	時間	頁
ものの科学	教養教育	松本 洋明・鶴町 徳昭 (創造工学部)	12月9日~2月10日 (計8回)	木	16:20~17:50	1
人類と微生物	教養教育	田淵 光昭 (農学部)	10月7日~12月2日 (計8回)	木	16:20~17:50	2
瀬戸内海の環境と諸課題	教養教育	多田 邦尚 他 (農学部)	10月7日~12月2日 (計8回)	木	16:20~17:50	3
瀬戸内海の環境と保全	教養教育	多田 邦尚 他 (農学部)	12月9日~2月10日 (計8回)	木	16:20~17:50	4
教育学	教養教育	柳澤 良明 (教育学部)	10月5日~11月30日 (1日2回、計15回)	火	18:00~19:30 19:40~21:10	5
政治学	教養教育	堤 英敬 (法学部)	12月9日~2月10日 (1日2回、計15回)	木	18:00~19:30 19:40~21:10	6
政治思想	専門教育	金子 太郎 (法学部)	10月8日~2月4日 (計15回)	金	16:20~17:50	7
平和学	専門教育	石井 一也 (法学部)	10月4日~2月7日 (計15回)	月	16:20~17:50	8
観光学概論	専門教育	山崎 隆之 (経済学部)	10月5日~2月1日 (計15回)	火	16:20~17:50	9
福祉経済論(夜間主コース)	専門教育	加藤 美穂子 (経済学部)	12月7日~2月8日 (1日2回、計15回)	火	18:00~19:30 19:40~21:10	10
国際経済学(夜間主コース)	専門教育	山ノ内 健太 (経済学部)	10月8日~11月26日 (1日2回、計15回)	金	18:00~19:30 19:40~21:10	11
企業会計B(夜間主コース)	専門教育	朴 鏡杓 (経済学部)	10月7日~12月2日 (1日2回、計15回)	木	18:00~19:30 19:40~21:10	12

- (注1) 香川大学の教育は、特定の専門分野に限定されない幅広い知識・能力を養う「教養教育(全学共通科目)」 と、専門職業人を養成するための「専門教育(学部開設科目)」と、から成ります。 1年次の間は教養教育を中心に、2年次以降は専門教育を中心に学びます。
- (注2) <u>授業スケジュール編成の都合上、一部の授業においては、通常とは異なる曜日に開講したり、休講になったりすることがあります。</u> 詳細は、19~20頁の「2021年度行事予定表」をご参照ください。

(昼間と夜間主コースで授業スケジュールが異なります。お間違えのないようにお願いします。)

【夏の体験授業】

講 座 名	開設学部	期間	曜日	時間	頁
先生になった気分で「モギ模擬授業」	教育学部	8月6日	金	9:30~11:50	13
科学・技術の面白さを体験しよう	創造工学部	7月28日(水) ~7月30日(金)	-	午前の部: 10:00~13:00 午後の部: 14:00~17:00	14~17
農学部サイエンスアドベンチャー講座2021 「微生物の酵素を用いた希少糖の生産」	農学部	8月6日	金	10:30~12:00講義 13:00~16:00研究室体験 等	18

大学の授業には、いろんな「気づき」があるよ。 その「気づき」を高校に持ち帰ってみよう。 高校の授業の見方も変わってくるはず!

大学生との交流も良い刺激になるよ!



ものの科学

Science on Matter

時間割

12月9日(木) ~ 2月10日(木)

毎週木曜日 16時20分 ~ 17時50分(計8回)

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(21ページ参照)にお越しください。

担当教員名

松本 洋明, 鶴町 徳昭

学習時間 授業90分×7回 + 授業45分×1回+自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)

授業の概要

我々の身の回りにある様々な"もの"の種類や特徴、発見・開発の歴史、最先端の技術や産業などについて概説する。 いろいろな科学技術に応用される機能材料、特に半導体材料や、"もの"を形づくる構造材料、特に金属材料につい て学習する。

授業の目的

我々人類の様々な社会活動は、いろいろな材料を用いた"もの"をベースに行われている。社会生活の発展には"もの"の進歩なくしてあり得ない。21世紀社会に求められている持続可能な発展に貢献するために、これまでどのような"もの"が必要とされてきたのか?どのように作られ、使われているのか?などに関する知識を習得するとともに、"もの"に関する様々な課題を理解できるようになる。

到達目標

- 1. いろいろな構造材料について説明できる。(共通教育スタンダード「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)
- 2. いろいろな機能材料について説明できる。(共通教育スタンダード「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)
- 3. 日本の先端的な材料に関する産業の現状について説明できる. (共通教育スタンダード「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

第1回 金属って?(松本)

第2回 金属の組織学と金属の種類(松本)

第3回 材料を強くするには?(松本)

第4回 材料ともの造り(金属製品の加工方法)(松本)

第5回 半導体って? (鶴町)

第6回 半導体電子デバイス (鶴町)

第7回 半導体光デバイス (鶴町)

第8回 まとめ(鶴町)(45分授業)

【自学自習について】

配付される授業資料をよく読み、理解できなかった事項を調べ、次回までに理解しておくこと。

第5回:日本の産業構造について調べる

第6~8回:半導体の基礎や光・電子デバイスについて調べ、レポートにまとめる.

教科書・参考書等

教科書は使用しない。授業では適宜プリントなどを配布する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

対面での授業形式を予定するが、コロナ感染の状況も鑑みてWebでのオンライン・オンデマンド授業にする場合もある。大学および担当教員の連絡をよく確認するように。

メールアドレスは以下の通りである。

鶴町: tsurumachi.noriaki@kagawa-u.ac.jp 松本:matsumoto.hiroaki@kagawa-u.ac.jp

人類と微生物

Relationship between Human and Microbes

人類と毒・微生物 その1

微生物とヒトとの関わり-発酵食品、病気、バイオテクノロジー

Part I Relationship between Human and Microbes - Fermentation food, Disease, Biotechnology

担当教員名

田淵 光昭

時間割

10月7日(木) ~ 12月2日(木)

毎週木曜日 16時20分 ~ 17時50分(計8回)

ただし、11月25日(木)は振替授業で火曜日の授業になります ので、授業はありません。

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階 (21ページ参照) にお越しください。

学習時間 講義90分×7回半+定期試験+自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)

授業の概要

【キーワード】人類と微生物

微生物とは何か?微生物とは、ヒトの肉眼で観察することができない微小な生物の総称であり、その大きさは、数十 nmから数百μmと様々である。人類は太古の昔よりこの肉眼で見ることのできない微生物と知らず知らずのうちに深 い関わりを持ってきた。本講義では、微生物の基礎、応用、微生物による病気に至るまで幅広く人類と微生物との関 わりについて解説していく。

授業の目的

微生物の基礎から食品や医薬品における応用、また、微生物による病気に至るまで幅広く人類と微生物の関わりにつ いて理解することを目的とする。

到達目標

- 1. 微生物の定義が説明できる。
- 2. 食品における微生物の役割について、具体例を上げて説明できる。
- 3. 感染症とその原因微生物について、具体例を上げて説明できる。
- 4. モデル微生物とその役割について、具体例を上げて説明できる。
- 5. 微生物で見出された現象を元に開発されたバイオテクノロジー技術について、具体例を上げて説明できる。
- 6. 新聞やニュースで感染症や発酵食品について見たり聞いたりしたときに自分の意見として専門家の意見を判断で きる。
- 1~5は、共通教育スタンダード「知識・理解/広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応
- 6は、共通教育スタンダード「問題解決・課題探求能力/21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】

第1回:微生物とは何か? 基礎知識(定義、分類)

自学自習:第1回目の復習と第2回目の予習

第2回:微生物と食品1 味噌・醤油

自学自習:第2回目の復習と第3回目の予習

第3回:微生物と食品2 日本酒・ワイン・ビール

自学自習:第3回目の復習と第4回目の予習

第4回:微生物と病気 細菌・ウイルス・真菌

自学自習:第4回目の復習と第5回目の予習 第5回:微生物と薬 抗生物質・多剤耐性菌

自学自習:第5回目の復習と第6回目の予習

第6回:モデル微生物 ファージ・細菌・酵母

自学自習:第6回目の復習と第7回目の予習

第7回:微生物とバイオテクノロジー 遺伝子組み換え技術

自学自習:第7回目の復習と定期試験の準備

第8回:まとめ・定期試験

【授業及び学習の方法】

授業の最初にプリントを配布し、パワーポイントを用い講義する。また一部、映像も利用する。

授業の最後に復習および予習を兼ねたレポートの課題を提示し、次回の講義の開始前に提出させる。

【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】

第1回:微生物の定義について調べて説明できる様に準備する(4時間)

第2回,第3回:微生物に関わる食品について調べて微生物の役割について説明できるように準備する(8時間)

第4回, 第5回: 微生物が関わる病気について調べる。抗生物質とは何か?また、多剤耐性菌とは何かを調べて説明 できるように準備する(8時間)

第6回:モデル微生物とはどの様な微生物で、どの様な役割を担ってきたかを調べて説明できるように準備する(5 時間)

第7回:微生物が関わるバイオテクノロジー技術について調べて例をあげて説明できるように準備する(5時間)

教科書・参考書等

教科書は使用せず、必要に応じてプリント類を配布する。

参考書は適宜指示する

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

質問等で研究室(農学部BW505-3)を訪問する際には、事前に連絡(tabuchi.mitsuaki@kagawa-u.ac.jp)して下さい。

本授業の内容は、2018年度以前開講の「人類と毒・微生物(その1)」と内容が重複するため、2018年度以前に当該 科目の単位を取得した学生は本授業を受講できません。

瀬戸内海の環境と諸課題

Environment of the Seto Inland Sea and its agenda

担当教員名

多田 邦尚, 一見 和彦, 石塚 正秀

時間割

10月7日(木) ~ 12月2日(木)

毎週木曜日 16時20分 ~ 17時50分(計8回)

ただし、11月25日(木)は振替授業で火曜日の授業になりますので、授業はありません。

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(21ページ参照)にお越しください。

学習時間 授業90分×7回 + 授業45分×1回+自学自習(準備学習8時間+事後学習22時間)

授業の概要

【キーワード】瀬戸内海、環境

瀬戸内海は世界でも稀な素晴らしい多様な環境と高い生物生産性をもつ海である。一方、この海は、高度経済成長期に瀕死の海と言われるまで環境は悪化した。その後、様々な環境改善の努力により、水質はかなり改善されたものの生物量や生物多様性は回復していない。本講義では、まず、瀬戸内海を自然科学的側面から眺め、現在、瀬戸内海が直面している様々な問題について解説するとともに、香川大学で研究された最近の研究成果についても紹介する。

授業の目的

我々の身近な瀬戸内海に興味を持ち、その環境について知ると共に、その環境の持つ諸課題を理解し、説明できるようになる。

到達目標

- 1. 履修後には、瀬戸内海の自然環境的側面について、他人に幾つかのトピックを紹介できる。
- 2. 瀬戸内海に対する理解を深めるとともに、直面している環境問題を説明できる。
- 3. 瀬戸内海周辺に暮らす一人の人間として、この海を守るために、何が大切かを考え、必要な時には行動を起こすことができる。また、その解決策を自分自身で考えられる。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】

- 第1週 講義の概要、「瀬戸内海とは?」
- 第2週 瀬戸内海の環境の現状と課題-1
- 第3週 瀬戸内海の環境の現状と課題-2
- 第4週 瀬戸内海の赤潮
- 第5週 瀬戸内海に現存する干潟・藻場
- 第6週 干潟・藻場の役割
- 第7週 河川と瀬戸内海のつながり
- 第8週 河川と瀬戸内海の環境行政(45分授業)

【授業及び学習の方法】

最初に、本授業の概要を説明し、その後、2名の教員で順番に行います。授業では、参考図書等や参考資料も紹介します。それらを用いて復習をしっかりと行ってください。

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を一部あるいは全て遠隔へ変更する可能性があります。

【自学自習のためのアドバイス】

授業中に、参考図書や、自分で調べておいて欲しい事などを述べます。それらを参考に授業で取り扱ったトピックについて自学習に取り組んで下さい。

教科書・参考書等

教科書は特に定めない。参考書は授業のなかで紹介する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

本授業の内容は、平成30年度以前開講の「瀬戸内海の環境と保全 その1」及び平成28年度以前の高学年向け教養科目「瀬戸内海の環境と保全」と同様の内容です。

授業は、欠席せず、連続して聞いてください。受け身にならず、自分から積極的に授業に参加して下さい。この授業は、「瀬戸内海の環境の諸問題」と「瀬戸内海の環境とその保全」をあわせて受講することを奨励します。

瀬戸内海の環境と保全

Environment of the Seto Inland Sea and its conservation

時間割

12月9日(木) ~ 2月10日(木)

毎週木曜日 16時20分 ~ 17時50分(計8回)

担当教員名

多田 邦尚,山口 一岩,末永 慶寛,田中 健二

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(21ページ参照)にお越しください。

学習時間 授業90分×7回 + 授業45分×1回+自学自習(準備学習8時間+事後学習22時間)

授業の概要

【キーワード】瀬戸内海、環境

瀬戸内海は世界でも稀な素晴らしい多様な環境と高い生物生産性をもつ海である。一方、この海は、高度経済成長期に瀕死の海と言われるまで環境は悪化した。その後、様々な環境改善の努力により、水質はかなり改善されたものの生物量や生物多様性は回復していない。本講義では、まず、瀬戸内海を自然科学、人分科学的側面から眺め、現在、瀬戸内海が直面している様々な問題について解説するとともに、香川大学で研究された最近の研究成果についても紹介する。

授業の目的

我々の身近な瀬戸内海に興味を持ち、その環境について知ると共に、その環境の持つ諸課題を理解し、説明できるようになる。

到達目標

- 1. 履修後には、瀬戸内海の自然環境や歴史・文化的側面について、他人に幾つかのトピックを紹介できる。
- 2. 瀬戸内海に対する理解を深めるとともに、直面している環境問題を説明することができる。
- 3. 瀬戸内海周辺に暮らす一人の人間として、この海を守るために、何が大切かを考え、必要な時には行動を起こすことができる。また、その解決策を自分自身で考えられる。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】

第1週 漁業生産を支える瀬戸内海-1

第2週 漁業生産を支える瀬戸内海-2

第3週 水産廃棄物の有効利用と海域環境改善

第4週 波浪エネルギー吸収技術と防災への備え

第5週 慶長年間の讃岐国絵図に見る海岸線-1

第6週 慶長年間の讃岐国絵図に見る海岸線-2

第7週 慶長年間の讃岐国絵図に見る海岸線-3

【授業及び学習の方法】

最初に、本授業の概要を説明し、その後、3名の教員で順番に行います。授業では、参考図書等や参考資料も紹介します。それらを用いて復習をしっかりと行ってください。

【自学自習のためのアドバイス】

授業中に、参考図書や、自分で調べておいて欲しい事などを述べます。それらを参考に授業で取り扱ったトピックについて自学習に取り組んで下さい。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

教科書は特に定めない。参考書は授業のなかで紹介する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

本授業の内容は、平成30年度以前開講の「瀬戸内海の環境と保全 その2」及び平成28年度以前の高学年向け教養科目「瀬戸内海の環境と保全」と同様の内容です。

授業は、欠席せず、連続して聞いてください。受け身にならず、自分から積極的に授業に参加して下さい。この授業は、「瀬戸内海の環境とその保全」と「瀬戸内海の環境の諸問題」をあわせて受講することを奨励します。

教育学

Pedagogy

学校教育の国際比較

A Comparative Study of School Education in Japan and Abroad

担当教員名

柳澤 良明

時間割

10月5日(火) ~ 11月30日(火)

毎週火曜日 18時00分~19時30分

19時40分~21時10分(1日2回、計15回)

ただし、10月26日(火)は振替授業で金曜日の授業になりますので、授業はありません。11月25日(木)は振替授業で火曜日の授業になりますので、授業があります。

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(21ページ参照)にお越しください。

学習時間 授業90分×15回+自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)

授業の概要

本授業は、日本と諸外国における学校教育の理念、制度、実態を比較することをとおして、日本の学校教育の特質を理解することを目的とする。世界には日本の学校教育と共通性の高い学校教育から大きく異なる学校教育まで実に多様な学校教育が存在する。授業では正確な事実が把握できる諸外国の学校教育を比較の対象とする。授業者(柳澤) による講義とともに、受講者の説明力、質問力、応答力を高めるために、受講者の皆さんによる報告および報告に対 する他の受講者全員との質疑応答を中心に授業を進めていく

授業の目的

受講者の説明力、質問力、応答力を高めるために、受講者が自らの関心ある対象国における学校教育の特定のテーマ を取り上げ、日本の学校教育と対象国の学校教育を比較するとともに、他の受講者との質疑応答をとおして、日本の 学校教育の特質を多面的に説明できるようになる。

到達目標

- 1. 報告担当の受講者は自らが選択した対象国における学校教育の特定のテーマについて適切なデータをもとに分か
- りやすく説明できる(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)。 2. 報告担当でない受講者は報告を聞き、報告内容を理解する上で最も適切な「問い」を生み出すことができる(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。
- 3. 報告担当の受講者は自らの報告に対して提出された他の受講者からの「問い」に適切に応答できる(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】

- オリエンテーション:授業の進め方と報告の留意点 第 1回
- 第 2回 学校体系の3類型
- 学校教育の日・独比較①:生徒の学校参加制度 第 3回
- 学校教育の日・独比較②:民主主義教育 第 4回
- 第 5回 学校教育の日・米比較①:多様なカリキュラム
- 第 6回 学校教育の日・米比較②: 格差是正政策
- 学校教育の日・英比較:演劇教育 第 7回
- 第 8回 学校教育の日・仏比較:市民性教育
- 第 9回
- 第10回
- 第11回
- 学校教育の日・フィンランド比較:学力政策 学校教育の日・オランダ比較:イエナプラン 学校教育の日・ブラジル比較:校長選挙 学校教育の日・シンガポール比較:能力主義教育 第12回
- 学校教育の日・中比較:素質教育 第13回
- 第14回 学校教育の日・韓比較:大学入試制度
- 日本の学校教育の特質(まとめ) 第15回
- ※なお、第5~14回の授業内容は例示であり、受講者の興味・関心によりテーマや順番は変わる。

【授業及び学習の方法】

第1~4回の授業は柳澤による講義を中心に進める。第5~14回の授業は受講者が順番に報告を行うとともに、他の受講者全員との質疑応答により進める。受講者には、授業前に報告資料を読み込むとともに「問い」を用意しておくこ と、授業後に「意見カード」へ記入することにより自らの発言を整理することが求められる。

本授業は基本的に対面授業で実施する。なお、状況によっては全ての回または一部の回を遠隔による実施に変更する 可能性がある。

【自学自習のためのアドバイス】

第1回 自らが報告したい国およびテーマを用意し、その理由を説明できるようにしておくこと 第2~14回 事前に報告資料を読み、不明な点や質問したい点などの「問い」を用意しておくこと。

第15回 第1~14回をとおして得た知見を整理し、報告できるようにするこ

教科書・参考書等

教科書は使用せず、必要に応じてプリント類を配布する。

教科書:とくになし

報告に必要な参考文献の多くはインターネットで取得することが可能なので、自ら検索し収集することを推奨する。 授業の初回に基本的な関連サイトを紹介する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

1. 恩師へのインタビューについ

日本に関する報告内容を作成する際には、時間の許す限り、幼小中高でお世話になった恩師へのインタビュー(リ モートによるインタビュー可)を行うことが望ましい。

2. 授業資料について

授業資料は事前にMoodle上にアップし、授業ではこの授業資料を提示する。受講者は必要に応じてプリントアウト した上で授業に参加すること。 そのため、報告の担当になった受講者は報告資料を発表日の前日までにPDF等のファイルを柳澤へ送付すること

政治学

Politics

政治学入門

Introduction to Political Science

担当教員名

堤 英敬

時間割

12月9日(木) ~ 2月10日(木)

毎週木曜日 18時00分~19時30分

19時40分~21時10分(1日2回、計15回)

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(21ページ参照)にお越しください。

学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習 (準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)

授業の概要

「政治」には、遠い世界の出来事、ドロドロとした権謀術数の世界というイメージを持っている人も少なくないことでしょう。しかし、実際には、私たちの日常生活と政治は密接に結びついていますし、様々な政治的な出来事は、それなりのメカニズムの下に生じていると考えられています。この授業では、日々の政治的な出来事を自分なりに理解するための視点を獲得することを目指し、私たちにとって身近な具体的な事例を出発点としながら、政治学の基礎的な内容を学んでいきます。

授業の目的

政治学の基本的な知識を身につけ、国内外の政治的な出来事を自分とのかかわりを意識しながら、政治学的な観点から自分なりに理解できるようになることが、この授業の目的です。

到達目標

- 1. 政治にかかわる人・組織や政治的な決定を行うアリーナの特徴について説明できる(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)
- 2. 私たち一般市民が、政治とどのようにかかわっているか、ローカル、グローバルな視点から説明できる(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)
- 3. 日々の政治的な出来事を、政治学の概念を使って説明できる(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 なぜ「政治」が必要なのか
- 第3回 メディアと政治
- 第4回 選挙と投票行動
- 第5回 有権者と政党・政治家と政党
- 第6回 議会における立法過程
- 第7回 政策過程・執政制度・政官関係
- 第8回 デモクラシーを考える
- 第9回 市民社会の意義
- 第10回 地方自治の理念と現実
- 第11回 福祉国家とその変容
- 第12回 政治体制とガバナンス
- 第13回 グローバル化する政治と経済
- 第14回 安全保障の問題と国際協力
- 第15回 まとめ

【授業及び学習の方法】

授業は指定する教科書に沿って、基本的に講義形式で行います。なお、この科目は基本的に対面授業を行います(遠隔授業も併用します)。なお、状況によっては、授業形態をすべて対面または遠隔へ変更する可能性があります

【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】

各週の授業前に教科書の該当箇所を読み、疑問点を整理した上で授業に出席してください(4時間×6回)。また、毎回、授業内容の理解度を確認するための小課題を出題し、次回の授業までに提出してもらいます(3時間×7回)。併せて、各回の授業で「キーワード」を示しますので、それらを説明できるよう復習に取り組んでください(1時間×15回)。

教科書・参考書等

教科書

永井史男・水島治郎・品田裕編著(2019)『政治学入門』ミネルヴァ書房(3,500円+税)

参考書は授業時間中に適宜、指示します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

各回の授業で使用する資料の配付や課題の提出等はmoodleを通じて行います(Moodleの利用方法は初回の授業で周知します)。また、時事的な問題を例に説明を行う機会が多くあるので、新聞やテレビのニュース等での政治報道に日常的に触れるようにしてもらいたいたいと思います。

政治思想

Political Thought

時間割

~ 2月4日(金) 10月8日(金)

毎週金曜日 16時20分 ~ 17時50分(計15回)

担当教員名

金子 太郎

ただし、10月26日(火)は振替授業で金曜日の授業になりますの で、授業があります。10月29日(金)は大学の臨時休業のため、 授業はありません。

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階 (21ページ参照) にお越しください。

学習時間

講義90分×15回+自学自習(予習は不要。復習としてその回に配布されたプリントをよく読み返して下さい。)

授業の概要

19世紀から20世紀終わりまでの政治思想、経済思想を扱う。「政治思想」という科目名なのに経済思想も併せて 扱うのは、そうしないとこの時代を理解することは不可能だからである。前半は政治思想、後半は経済思想を中心に

前半の政治思想については、いきなり19世紀から話を始めるのは無理があるので、17世紀から話を始める。17 世紀の自由主義の始まりから話を始めて、18世紀の人民主権、19世紀以降の自由民主主義について講義する。後半は主に経済思想について講義する。資本主義、社会主義、共産主義、帝国主義、ケインズ主義、開発主義、市場 主義などについて、最低限の政治史の内容と併せて講義する。

【他の授業科目との関連】

「政治学入門」では簡単に触れた程度の政治思想について、そのもとの本・古典を読みながら理解を深める。 代より前の時代の法思想、政治思想については「法思想史」で聞いて欲しい。世界史の近現代史については「国際関 係論」「政治史」で聞いて欲しい。

授業の目的

19世紀から20世紀という時代に様々な思想がどのように生まれ、展開していったかを大まかな政治史とともに理

到達目標

19世紀~20世紀の世界史を政治思想、経済思想の観点から大掴みに理解できるようになること。どういう思想が 歴史のどういう経緯で生まれ、どう展開して行き、どういう経緯である思想は生き残り、ある思想は消えて行ったか を理解すること

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

プリントを配布し、口述と板書で説明をしながら進める。プリントの量が非常に多くなるが、これは口述と板書だけで講義する場合よりも伝えられる情報量が何倍も多くなるからである。また政治思想の古典や面白い本を読むきっか けにもなって欲しいと思ってやっていることなので、容赦して欲しい。

- (1) イントロダクション
- (2) 自由主義(1) ロック (3) 自由主義(2) モンテスキュー
- (4) 人民主権 ルソー
- (5) 保守主義 バーク
- (6) 自由民主主義 コンスタン
- 「多数の暴政」 トクヴィル (7)
- (8) 古典的自由主義の完成 J.S.ミル と選挙権の拡大
- (9) 資本主義
- (10) 社会主義、共産主義;帝国主義
- ケインズ主義 (11)
- 福祉国家 (12)
- 開発主義 (13)
- 市場主義 (14)
- まとめ(比較政治経済体制の視座) (15)

前期の「政治学入門」との連続性を考えて、後半の経済思想の部分と前半の政治思想の部分を入れ替えて講義します 前期の「政治学入門」が1945年の日本の敗戦までなので、「政治思想」では戦後のアジア史をふり返りながら経済思 想の話をします。

【自学自習に関するアドバイス】

予習は必要ありませんが、復習に配布されたプリントをよく読み返して下さい。

【授業の形態について】

Lの科目は全回対面授業を行う。 ただし、 状況によっては全てまたは一部の回の授業形態を遠隔配信へと変更する可 能性がある

教科書・参考書等

教科書は使用しない。

参考書は福田歓一『政治学史』(東大出版会)、猪木武徳『経済思想』(岩波書店)、ヤーギン・スタニスロー『市場対 国家』(日経文庫)

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

試験は持ち込み不可の論述形式の予定です。授業の重要なポイントを論理的に詳しく論述できるように準備をして欲 しい。

平和学

Peace Studies

時間割

10月4日(月) ~ 2月7日(月)

毎週月曜日 16時20分 ~ 17時50分(計15回)

担当教員名

石井 一也

ただし、11月1日(月)は大学の臨時休業のため、授業はありません。

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(21ページ参照)にお越しください。

学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習(準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)

授業の概要

国際平和研究学会が、その目的を「平和の諸条件、および戦争およびその他の暴力の諸原因に関する学際的研究を促進すること」においているように、「平和」は単に「戦争」の対概念ではない。ヨハン・ガルトゥングは、「構造的暴力」という概念によって、社会に埋め込まれた様々な「暴力」を認識する枠組みを示した。旧ソ連・東欧社会の崩壊によって東西問題は解消したかに見えるが、南北問題は、そうした「構造的暴力」の典型としてなお国際社会の前に立ちはだかっている。

そこで本講義では、南北問題に焦点を当て、「南」の貧困解決のために採られてきた様々な開発戦略を解説する。 非政府組織(NGO)が、ポスト冷戦の時代に、従来の政府や企業を補完するもう一つの社会経済開発の担い手として 躍進する中で、開発論の焦点が、経済開発から人間開発へとシフトしてゆく経緯を辿る。人間開発論およびこれを支 えるアマルティア・センの経済学は、開発論の一つのフロンティアを画するものであるが、これをエコロジーの観点 から批判的に検討することによって、平和のための社会科学には何が必要かを検討する。

授業の目的

本講義は、平和に対するひとつの学問的アプローチを提示しようとしている。その目的は、学生が、法学や政治学の枠を越えて、平和の問題を考察する視座を理解できるようにすることにある。

到達目標

本講義の到達目標は、つぎのとおりである。

- ① 平和学の特徴である学際的アプローチの意味を理解できる。
- ② 開発論の基本的な展開を、南北問題の歴史的展開の中で理解できる。
- ③ 開発論におけるセン経済学の重要性とともに、開発論の更なる発展の可能性を理解できる。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

講義は、口述と板書を基本とするが、一つ一つの項目の理解を確実なものとすべく、適宜質疑応答の時間を設ける。

- 第1回 はじめに:平和学と学際的アプローチ
- 第2回 ヨハン・ガルトゥングの「構造的暴力」
- 第3回 南北問題の現状①:経済・社会的諸指標
- 第4回 " " ②: " " "
- 第5回 南北問題の歴史的展開:東西問題との関連において
- 第6回 開発理論1:ロストウの「離陸」理論
- 第7回 開発理論2:輸入代替工業化
- 第8回 開発理論3:輸出志向工業化
- 第9回 小テスト/開発理論4:最低人間必要 (Basic Human Needs) 戦略:スリランカを事例として
- 第10回 開発理論 5:人間開発理論
- 第11回 国連開発計画の「人間の安全保障」論:「国家の安全保障」との対比において
- 第12回 アマルティア・センの経済学:功利主義との対比において
- 第13回 セン経済学の批判的検討:エコロジーの観点から
- 第14回 生態系の危機とE.F.シューマッハーの経済学
- 第15回 おわりに: 平和のための社会科学を目指して

自学自習について

本講義は、多種多様な文献に基づいて構成されているため、特定の教科書を指定することはできない。授業中に示された関連文献を事前に読み、講義内容を復習することが求められる。

【授業の方法について】

授業は、基本的に対面により行う予定であるが、感染症の状況に応じて、一部または全面的にオンラインに切り替える場合がありうる。

教科書・参考書等

教科書:特に指定しない。

参考書: 石井一也(2014)『身の丈の経済論-ガンディー思想とその系譜』法政大学出版局

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

日本のことのみを考えるのではなく、グローバル社会の一員としての意識をもって受講してほしい。

観光学概論

Introduction to Tourism

担当教員名

山崎 隆之

時間割

10月5日(火) ~ 2月1日(火)

毎週火曜日 16時20分 ~ 17時50分(計15回)

ただし、10月26日(火)は振替授業で金曜日の授業になります ので、授業はありません。11月25日(木)は振替授業で火曜日 の授業になりますので、授業があります。

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階 (21ページ参照)にお越しください。

学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習(準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)

授業の概要

誰もが経験したことのある旅行(観光)ですが、では改めて「観光とは何か?」と問われると答えに困るのではない でしょうか。

「観光は地域の総合産業」「観光は地域のまちづくりの総仕上げ」などとも言われるように、観光は単に旅行するこ と自体に留まらず、地域の色々なものごとに関わりのある人間の行動であり、経済活動です。

この授業では、観光の持つ多様な側面について解説するとともに、現在、全国各地で行われている観光振興のための 取り組みについても、できるだけ多くの事例を紹介します。

授業の目的

これから観光について学んでいくための足場固めをするために、幅広い観光の分野についての基本的な理解【b】す ると同時に、各地の具体的な事例から地域における観光の現状について理解【e】することを目指します。

到達目標

- 1. 学んだ概念や用語を使って観光について説明できる。
- 2. 様々なタイプの観光の実例について、具体的に説明できる。
- 3. 観光の持つ魅力や課題について指摘できる。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

- (1) イントロダクション① 欲望の旅、学びの旅
- (2) イントロダクション②「どっさり」と「ゆったり」
- (3) 用語から見る観光
- (4) 歴史から見る観光
- (5) データから見る観光
- (6) 観光資源と観光ルート
- (7) 観光産業の特徴
- (8) 観光産業①宿泊業
- (9) 観光産業② 旅行業
- (10) 観光産業③ 交通運輸業
- (11) ニューツーリズム①
- (12) ニューツーリズム②
- (13) 観光まちづくり①
- (14) 観光まちづくり②
- (15) 観光政策と観光マーケティング

授業の中で観光に関する様々な事例を多数紹介します。授業内で紹介できるのは、それぞれの取り組みのごく一部で しかないので、興味を持った事例については、インターネットや新聞・雑誌、書籍などで、関連する他の事例などに ついて調べてみてください。

※この科目は全回対面授業を行う予定ですが、状況によって全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可 能性があります。いずれの場合でも、講義や課題は同じ内容のもので変更ありません。

教科書・参考書等

教科書:特になし。適宜授業内で資料等を配布します。

羽田耕治著『地域振興と観光ビジネス』JTB能力開発、2008年

竹内正人・竹内利江・山田浩之編著『入門 観光学』ミネルヴァ書房、2018年

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

- ・授業計画は進捗状況により、変更になる場合があります。変更については授業内で適宜連絡します。
- ・授業に参加する意思がない態度や、授業の進行の妨げになる行動をとる学生については退室を指示し、態度が改め られない場合は単位の取得を認めない。

福祉経済論

Welfare Economy

時間割

12月7日 (火) ~ 2月8日 (火)

毎週火曜日 18時00分~19時30分

19時40分~21時10分(1日2回、計15回)

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階

担当教員名

加藤 美穂子

(21ページ参照)にお越しください。

学習時間 講義90分 × 15回 自学自習 (準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)

授業の概要

日本は第2次世界大戦後、豊富な若年者人口と高い経済成長率といった好条件の下で、社会保障制度などを中心に 福祉国家システムの構築・拡充を図ってきました。しかし21世紀の現在、少子高齢化や人口減少、グローバルな国際 競争の激化による経済成長の低迷など、日本の経済社会を取り巻く環境は大きく変化しており、20世紀後半の好条件 の下で構築されてきたシステムの再編が避けがたくなっています。

この授業では、日本経済の構造変化と福祉国家システムの財政的課題を踏まえながら、日本の社会保障システムの 体系と各政策分野(公的扶助、社会福祉、社会保険等)について、その制度的な枠組みと特徴、課題について学んでい きます。

授業の目的

この授業では、日本の福祉国家と社会保障システムの理念と基本構造を理解することを目指す(共通教育スタンダ ードの「21世紀社会の諸問題に対する探求能力」に対応)。

そして、日本の社会保障システムを構成する社会保険(年金、医療、介護など)、公的扶助(生活保護制度)、狭義 の社会福祉(高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉)の仕組みと課題を理解し、それらを検討するための基礎力を養う (共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)。

到達目標

- (1) 日本の福祉国家システムの枠組みと特徴について理解し、それらを説明できる。
- (2)年金・医療・介護といった社会保険制度の仕組みと現在の課題について理解し、説明できる。
- (3)公的扶助制度や狭義の社会福祉の仕組みと課題について理解し、それらを説明できる。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業及び学習の方法】

- ・授業はテキストに沿って進めます。授業時にテキストの図表や本文を参照しながら説明しますので、必ず手元で確認できるようにしてください。また、課題をテキストから出題することもあります。 ・補助教材として、参考文献や政府資料、新聞記事なども配布し、それらを用いた説明を行うこともあります。
- ・必要に応じてパワーポイントによってメモを示します。口頭でのみ行った説明と共に書き取るようにしてください。 ・授業内に出された課題は、必ず期限までに提出してください。解答は、Moodle上に提出してもらいます。宿題の他、授業時間内にMoodleにアクセスして、解答の作成と提出をしてもらうこともあります。
 ・授業は遠隔方式で実施します。Z00Mを使用しますので、第1回目の講義までにインストールやアカウント作成等の
- 準備をしておいてください。なお、状況によっては、授業形態を対面へと変更する可能性もあります。

第1回:ガイダンス、日本の経済社会の構造変化と社会保障

第2回:日本の社会保障システムの理念

第3回:日本の社会保障システムの全体像①

第4回:日本の社会保障システムの全体像②

第5回:年金システム(1) 意義と役割、歴史 第6回: 年金システム(2) 公的年金システムの構造 第7回:医療保険(1) 経済成長と皆保険システム

医療保障システムの構造 第8回:医療保険(2)

理念、歴史 第9回:介護保険(1)

第10回:介護保険(2) 介護保険の仕組み

第11回:公的扶助(1) 公的扶助の目的と特徴

第12回:公的扶助(2) 生活保護制度

第13回:児童福祉(1) 目的・理念、児童福祉政策の概要、保育所政策の仕組み①

第14回:児童福祉(2) 保育所政策の仕組み②、待機児童問題

第15回:まとめ 第16回:期末試験

【自学自習について】

- ・毎回、予習としてテキストを熟読し、授業後には授業内容を整理して、テキストを再度熟読する。(30時間) ・第2回 福祉国家の役割と日本の社会保障システムの理念を説明できるようにする。(2時間)
- ・第3・4回 日本の社会保障システムの全体構造について、統計表を読み取りながら特徴を検討し、要点をまとめる。 (5時間)
- ・第5・6回 公的年金システムの構造と財政方式、課題を説明できるようにする。(5時間)
- ・第7・8回 公的医療保険システムの構造と高齢社会の深化がもたらす影響について説明できるようにする(5時間) ・第9・10回 介護保険制度が創設された背景と、制度的枠組み、課題を説明できるようにする。(5時間)
- 公的扶助の目的と特徴、生活保護制度について説明できるようにする。(4時間) ・第11・12回
- ・第13・14回 児童福祉政策の概要と、保育所政策の仕組みと課題について説明できる。(4時間)

教科書・参考書等

教科書:木下武徳ほか編(2017)『日本の社会保障システム-理念とデザイン』、東京大学出版会 参考書: 渋谷博史著、『改訂版 福祉国家と地域と高齢化』、2014年、ISBN978-4-7620-2466-5 C3333 **履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

国際経済学

International Economics

時間割

10月8日(金) ~ 11月26日(金)

毎週金曜日 18時00分~19時30分

19時40分~21時10分(1日2回、計15回)

担当教員名

山ノ内 健太

ただし、10月26日 (火) は振替授業で金曜日の授業になりますので、授業があります。10月29日 (金) は大学の臨時休業のため、授業はありません。

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(21ページ参照)にお越しください。

学習時間 講義90分×15回+自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)

授業の概要

世界全体でも日本でもグローバル化は急速に進んでおり、外国を身近に感じる機会は少なくない。それでは、このグローバル化の進展は、我々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。本講義ではグローバル化の現状と基礎的な国際経済学を学び、グローバル化が経済に及ぼす影響を理解することを目指す。国際経済学は国境を越えた取引を分析する学問であり、財・サービスの取引を扱う「貿易論」とカネの取引を扱う「国際金融論」に分けられる。この「国際経済学」では「貿易論」を中心に扱い、グローバル化と我々の生活の関係について考えていく。

授業の目的

本講義では基礎的な貿易論を習得することを目指す。具体的には、世界経済とグローバル化に関係する制度・政策の 把握(DPの「知識・理解」に対応)、国際経済学の基礎的な理論の理解(DPの「知識・理解」に対応)、関連するデー タ処理能力の獲得(DPの「問題解決・課題探求能力」に対応)の3点を重視し、最終的には理論とデータからグロー バル化に関して自身の見解を養うことを目標とする。

到達目標

- ・世界経済や日本経済のグローバル化に関連する制度や諸問題を把握する。
- ・国際経済学の基礎的な理論を理解し、グローバル化が経済に与える影響を理論的に考察できるようになる。
- ・世界経済に関するデータを自身の手で適切に処理できるようになり、分析を通してグローバル化に関して自身の考えを持つ。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

授業は基本的に配布スライドを用いた講義形式とする。補足説明などで板書をする場合もある。また、2回程度のデータ処理演習を予定しており、関連するデータの扱い方を説明する。なお、この科目は基本的に対面授業を行うが、一部の回は遠隔授業とする。ただし、状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性がある。

【授業計画】

第1回:イントロダクション

第2回:比較優位

第3回:部分均衡分析

第4回:産業内貿易と規模の経済 第5回:経済統計の入手方法 第6回:経済統計の分析方法 第7回:貿易政策の基礎

第8回:貿易政策の応用

第9回:貿易政策の政治経済学

第10回:国際貿易のルールと交渉

第11回:サービス貿易 第12回:地域貿易協定 第13回:国際要素移動 第14回:貿易と環境

第15回:まとめ

【自学自習に関するアドバイス】

小テストの問題は事前に公開するので、教科書や参考書を読んで事前に解答を考えてきてほしい。また、講義でデータを扱った場合は、データの入手や加工を自身の手で行って復習することを推奨する。

教科書・参考書等

講義の内容と構成は以下の教科書に従う。ただし、講義は原則としてMoodleで配布するスライドに基づいて行うため、 購入は必須ではない。

【粉科書】

- ・石川城太・椋寛・菊地徹『国際経済学をつかむ』第2版、有斐閣、2013年、2,200円+税。
- ・椋寛『自由貿易はなぜ必要なのか』、有斐閣、2020年、2,300円+税。

【参考書】

- ・P. R. クルーグマン・M. オブストフェルド・M. J. メリッツ著、山形浩生・守岡桜訳『クルーグマン国際経済学 理論と政策〔原書第10版〕上:貿易編』、丸善出版、2017年、4,000円+税。
- ・木村福成『国際経済学入門』、日本評論社、2000年、3,200円+税。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

本講義では、国際経済学の学習を通し、広い視野と長期的な視点で世界経済を俯瞰する機会を提供したいと考えている。また、データ処理を通して得られた分析能力は、実務でも大いに役立つと期待される。意欲のある学生に履修してほしい。

企業会計B

Corporate Accounting B

時間割

10月7日(木) ~ 12月2日(木)

毎週木曜日 18時00分~19時30分

19時40分~21時10分(1日2回、計15回)

担当教員名

朴 鏡杓

ただし、11月25日 (木) は振替授業で火曜日の授業になりますので、授業はありません。

初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(21ページ参照)にお越しください。

学習時間 講義90分×15回+自学自習

授業の概要

会計は、企業の財政状態及び経営成績を企業外部の利害関係者に報告するための財務会計と、企業内部のマネジメントを支援する管理会計に分類されます。

本講義では管理会計の基本的な概念、技法、考え方などを学習し、管理会計が経営管理にどのように実践されているかについて考えていきます。

授業の目的

経営管理に役立つ管理会計の基礎知識を習得すること(DPの「知識・理解」に対応)を目指します。

到達目標

- 1. 財務諸表をもとに企業活動を評価できる。
- 2. 利益管理と原価管理に役立つ原価概念、諸技法を説明できる。
- 3. 意思決定と業績評価のための管理会計技法を習得できる。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業計画】

- 第1回 イントロダクション【授業の概要と進め方】
- 第2回 管理会計のフレームワーク
- 第3回 原価の概念
- 第4回 標準原価管理①
- 第5回 標準原価管理②
- 第6回 財務分析①
- 第7回 財務分析②
- 第8回 利益計画①
- 第9回 利益計画②
- 第10回 事業部制会計
- 第11回 設備投資の経済計算①
- 第12回 設備投資の経済計算②
- 第13回 ABC/ABM
- 第14回 原価企画
- 第15回 品質原価計算
- 第16回 期末テスト

【授業及び学習の方法】

授業はプリント、Power Point資料などを活用しながら講義中心に進めます。

また、講義内容の理解を助けるため練習問題を取り入れます。

この科目は基本的に対面授業を行いますが、状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【自学自習に関するアドバイス】

- ・ テキストを事前に読んでおくこと (毎回2時間程度の予習が必要です)
- ・ テキストの例題と授業中に配布した練習問題を復習すること(毎回2時間程度の復習が必要です)

教科書・参考書等

【教科書】高梠 真一編著『管理会計入門ゼミナール』創成社、2012年(生協の書籍部にて購入)

【参考書】講義において適宜紹介します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業計画並びに授業の方法は、授業の開始時点での予定であり、開始後の状況により変更する場合があります。

講座名	先生になった気分で「モギ	模擬授業」	
担当学部	教育学部	担当教員名	上野耕平
開講期間	2021年8月6日(金)	位 * 吐 目	左並 0 時 20 八 11 時 50 八
受入可能人数	30 名	按 未 呀 即	午前9時30分~11時50分

授業の目標等

児童や生徒が授業に対して積極的に取り組んでいる授業があります。優れた教員は児童や生徒がどんどん発表したくなるような授業の進め方を理解した上で、そうした「仕掛け」を授業に組み込んでいると言えます。本授業では、まずそうした「仕掛け」が働くメカニズムについて心理学の視点から理解します。その上で、理論に基づく「仕掛け」を組み込んだ簡単な模擬授業(モギ模擬授業)を全員で体験します。

授業の概要・計画等

- 1) やる気を高める心理学 (9:30~10:10)
 - やる気を高める心理学として欲求論に焦点を当て,授業への応用方法を中心に講義します。その上で,モギ模擬授業の実践例を紹介します。
- 2) グループ別でのモギ模擬授業 (10:20~11:00)
 - 受講者が互いに児童・生徒役・教師役になり、授業の導入部分(開始から課題の 提示まで)についてやる気を高める授業の展開方略を考えた上で、3分から5分 程度のモギ模擬授業をそれぞれ体験します。各グループに大学生をサポート役と して配置する予定です。
- 3)全体でのモギ模擬授業の発表 (11:10~11:50) 各グループで発表したモギ模擬授業の内,最も受講者がやる気になったと感じた 授業について全体でシェアします。

テキスト・教材・参考書等

配布資料等を準備します。

履修上の注意

特にありません。

高校生へのメッセージ等

「すぐできてしまう簡単な課題より、ちょっと難しい課題の方がやる気が出る」、「みんなが喜んでくれるから頑張れる」といった経験はありませんか?いずれの状態も心理学で説明できます。授業がうまく進む楽しさや、児童や生徒と関われる楽しさを、モギ模擬授業を通じて一緒に味わいましょう!

講座名	大学体験授業「科学・技術の面	白さを体験しよ	اِرْ
開設学部	創造工学部	講師(代表者)	小野 貴史
開設期間	7月28日(水) ~7月30日(金)	講義時間	午前の部:10:00~13:00 午後の部:14:00~17:00
実施場所	創造工学部(林町キャンパス) 2号館、6号館、 ものづくり工房	受入可能人数	2 5名/テーマ

講座の趣旨等

創造工学部の教育・研究分野に関する内容を高校生の皆さんに知ってもらい、実験を 交えた講義を通して創造工学部の基礎である科学・技術に触れて、その面白さを実感し てもらうことを主な目的にしています。(対象とするのは高校2、3年生です。)

この講座を受講してもらうことで、高校での数学・物理・化学・生物などの勉強が将来の大学での勉強や研究にどのようにつながるかが、高校生の皆さんにわかり易くなると考えています。

講座の概要等

この講座で取り上げる内容は、創造工学部のスタッフが研究している領域と関連しているものです。内容のレベルは高校の物理・化学の進度を想定して考えています。高校生の皆さんが興味を持てるように、実験・観察およびデモンストレーションをなるべく行うようにしています。実施予定のテーマは以下のようなもので、それぞれ午前または午後の部で完結するようになっています。

1日目(7月28日(水))

(午前)「距離センサを使って機械を制御してみよう」

(午後)「電子回路(FPGA)を使ってストップウオッチとルーレットを作ってみよう」

2日目(7月29日(木))

(午前)「モーターを作ろう ~ 磁石と電磁誘導」

(午後)「ハンドレイアップ成形による繊維強化プラスチック (FRP) の制作」

3日目(7月30日(金))

(午前)「有機化合物を合成する、光らせる」

(午後)「パソコンで原子と分子の本当の姿を見る」

詳細は別紙を見てください。

参考書等

筆記用具を用意してください。

各テーマについてこちらで準備した資料を配付します。(参考書は必要なし)

受講上の注意

特に危険な実験等はないので安心して参加してください。また、創造工学部(林町キャンパス)への途上での交通事故などに注意して創造工学部(林町キャンパス)へ来てください。

高校生へのメッセージ等

各テーマの講義や説明はなるべく平易に行う予定ですが、質問・疑問があるときは気軽に聞いてください。また、実験にも積極的に参加してください。実際に体験することで科学・技術の面白さがより深く分かります。

別紙

1. テーマ名 「距離センサを使って機械を制御してみよう」

1.1 概要

距離センサを使ったシステムは、車の衝突検知や漁業における魚群探知など、生活の中の様々な場面に存在しています。本授業では超音波センサを利用した距離計測装置のしくみについて講義を行った後、実際に装置を製作し、またそれらを使った機械の制御についても体験学習してもらいます。

1.2 講義内容

距離センサは、超音波などの信号を発信するセンサと 対象物から跳ね返った信号を受信するセンサから成り立 っています。センサで送受信した信号の処理や距離とし



て表示されるまでの演算方法など、装置のしくみについて説明します。また、センサや表示器を制御するための電子回路として近年身近なものになった Arduino などの簡易マイコンについてお話します。

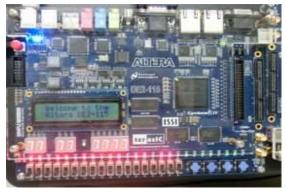
1.3 実験·工作

超音波センサや表示器などと簡易マイコンを接続し、距離を検知する装置の製作を 行います。また、センサによって距離を検知させたり、距離が変わったりすることに よって変化する機械の動作状況を確認して、制御方法についての検証をしていきます。

2. テーマ名 「電子回路(FPGA)を使ってストップウオッチとルー レットを作ってみよう」

2.1 概要

近年、さまざまな電子機器(例えば携帯電話やテレビ等)において使われている集積電子回路(FPGA:書き換え可能なLSI)を用いて、簡単なストップウオッチとルーレットを作製します。コンピューターなどに使われているディジタル回路の演習にもなります。



2.2 講義内容

ディジタル回路の話、2 進数の説明をした後に、配布するサンプルプログラムを集積電子回路である FPGA に転送し、LED を光らせます。

次に、簡単な例題を解く演習を行った後に、FPGA を用いてストップウオッチ等の作製を行います。

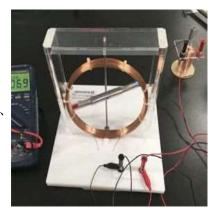
2.3 実験

VHDL と呼ばれるハードウェア記述言語を用いてプログラミングを行い、ストップウオッチとルーレットを作製します。作製したあとで、スイッチを押して動作確認を行います。一人一台の実習ボードを用意しますので、各自のペースで作製できます。

3. テーマ名 「モーターを作ろう ~ 磁石と電磁誘導」

3.1 概要

現代社会において磁石は、携帯電話内のバイブレーターやスピーカーそしてハイブリッド車の電気モーターなど様々な所で利用されています。最先端機器の内部の磁石は小型化と高性能化が求められています。磁石応用の基礎となっているのは電磁誘導であり、高校の物理における馴染み深い事項が最先端で応用されている良い例です。本テーマでは、磁石の種類と基本法則について講義を行った後、実際に簡単なしくみのモーターを作製し、そのメカニズムを体験学習します。



3.2 講義内容

物理法則であるアンペールの法則とファラデーの誘導起電力について復習し、電気と磁気の関係を説明します。さらに磁気の起源や磁石内のスピン配列、磁石の種類をお話します。またスピーカーやモーター内部の構造を説明します。

3.3 実験·工作

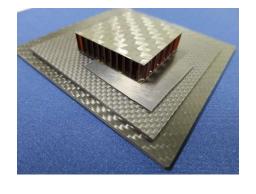
①砂鉄や磁性流体によって磁場を可視化します。磁石の種類や遮蔽について学びま す。最強磁石であるネオジム磁石を使い通常の磁石との強さの違いを体験します。

②コイル状に巻いたニクロム線と電池と磁石によって簡単な単極モーターを作り、 オシロスコープによって誘導起電力の波形を確認します。

4. テーマ名 「ハンドレイアップ成形による繊維強化プラスチック (FRP) の制作」

4.1 概要

ガラス繊維や炭素繊維で強化したプラスチック (FRP) は、軽くて強いため飛行機や自動車のボディなど様々な構造体に適用されています。本授業では、材料の強さの考え方を学んだあと、FRP と金属との強さの違いを学びます。その後、ガラス繊維マットに樹脂を人手で含侵させるハンドレイアップ成形によって実際に FRP を製作します。



4.2 講義内容

材料の強さの考え方の基礎は、レオナルドダヴィンチやガリレオガリレイによって築かれました。彼らの業績や材料の強さの考え方の基礎について説明します。また、金属材料や炭素繊維強化プラスチック(CFRP)に触れて、材料によってどのように強さが異なるのか説明します。

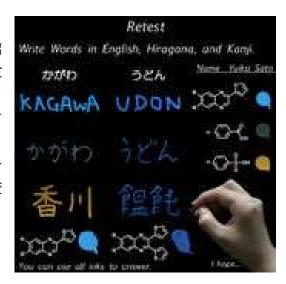
4.3 実験·工作

樹脂をハケやローラーでガラス繊維マットに含浸させ、脱泡しながら所定の厚さまで 積層する複合材料の成形(ハンドレイアップ成形)を体験します。

5. テーマ名 「有機化合物を合成する、光らせる」

5.1 概要

本講義では我々の研究室で行っている 有機化学の材料として、光る有機材料の紹 介を行います。このような材料は、現在家 電量販店などでもおなじみの有機 EL テレ ビの素材になりうるもので、注目を集めて います。また、この光る有機材料ですが、 他の材料と混ぜ合わせることで、その色を 大きく変えることができます。これらの変 化を実験を通して、楽しんでもらえたらと 思います。



5.2 講義内容

有機化合物の合成方法など、実験に関して説明します。その後、得られた化合物が どのような機構により、どのような性質を示すのか、説明します。

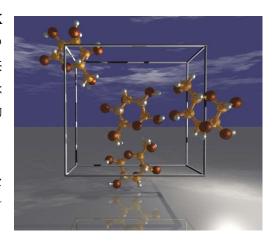
5.3 実験

実際に合成した有機化合物がどのように光るのか、観察します。さらに、その他の 有機化合物を用いて、発光色の確認や外部刺激による発光色の変化なども確認します。

6. テーマ名 「パソコンで原子と分子の本当の姿を見る」

6.1 概要

原子や分子はとても小さいのですが、X 線や電子線を用いることにより、原子がどの ように並んでいるのかを調べることが出来 ます。一方、さらに小さな電子の姿は、残念 ながら直接見ることは出来ませんが、理論的 にはかなり正確に予測することが出来ます。 この講義では、高校生が学ぶ電子殻の姿と、 大学で学ぶ電子軌道の『本来の姿』の違いな どを、分子軌道計算を用いて自らがパソコン で描画することを行います。



原子や分子によって発現される物性は、全て電子構造によって決定されるので、電子の構造を制御することで、物性を自由自在に制御することも出来ます。

6.2 講義内容

講義では、原子の電子軌道を学び、分子の構造や分子の電子軌道などを勉強します。

6.3 実験・工作

計算機実験をパソコン上で行います。分子軌道計算を用いて、分子の構造と電子の 軌道などを描画します。

講	座	名	農学部サイエンスアドベンチャー講座 2021 「微生物の酵素を用いた希少糖の生産」						
開設	没 学	部	農学部	講師	吉原 明秀 准教授				
開記	没 期	間	8月6日	講義時間	10:30~12:00 講義 13:00~16:00 研究室体験など				
実が	沲 場	所	三木町農学部キャンパス	受入可能人数	25 名				

講座の趣旨等

香川大学では、天然にほとんど存在しない希少糖の生産が可能であり、農学部を含む様々な学部で研究が進められています。本講座では、香川大学で構築された希少糖の生産方法について紹介し、農学部で行われている研究について理解を深め、関心を持ってもらうことを目的とします。

講座の概要等

香川大学農学部では、応用生命科学コース、生物生産科学コース、環境科学コース、生物資源機能化学コース、食品科学コースといった5つのコースが有り、幅広い研究が進められています。

本講座では、香川大学で研究が進められている「希少糖」について話します。自然界にわずかしか存在しない、さまざまな糖のことを、まとめて「希少糖」といいます。ガムなどに使われている「キシリトール」も希少糖の1種です。香川大学農学部では、微生物やそれらの微生物が持つ酵素の力を利用して天然に存在する糖から希少糖の生産方法を確立してきました。

本講座内では、酵素を用いた希少糖生産方法について紹介します。特に、香川大学内で発見された微生物から得られた希少糖生産の基盤酵素「D-タガトース 3-エピメラーゼ」も用いて、天然に多く存在する D-フルクトース (果糖) から希少糖「D-プシコース」の生産について説明します。また、生産された希少糖には、血糖値の上昇や動脈硬化を抑える作用や、植物の生長に働きかける作用など、さまざまな生理作用があることがわかってきており、食品や医薬品など様々な分野への応用研究が進められています。

午後からは、様々な研究紹介のツアーや研究室体験、施設見学や入試相談に参加することができます。また、実際に希少糖の大量生産を行っている「希少糖生産ステーション」を見学することもできます。

参考書等

特に使用しません。

受講上の注意

高校生へのメッセージ等

本講座を通して、香川大学農学部の講義を実際と同じ形式で体験することができます。希少糖に興味がある人や世界で香川大学でしかできない様々な希少糖生産の現場を見学したい人は是非参加してみてください。また、気になることがあれば何でも質問してください。

令和3年度行事予定表(昼間)

第1学期 第2学期 月 火 水 木 金 ± 月 火 水 木 金 ± 2 新入外国人留学生 がイダンス 第1学期開始 3 入学式・ガイダンス (毎年4/3) 第2学期開始 大学記念日 第1学期・第1クォーター履修登録期間 4/1~4/7 13時まで 6 新入生修学相談会 7 新入生修学相談会 8 定期健康診断 新入外国人留学 新入外国人留学 新入外国人留学 新入生物 12 東京 12 東 期・第3クォーター) 生ガイダンス 新入生歓迎祭 第1学期・第1クォーター履修登録期間(但しR3年度新入生は4/3~4/7 13時ま (抽選) 履修登録予備日 履修登録期間(ただし、令和3年度10月入学者のみ対象) 13 履修登録取消申請期間 履修登録取消申請期間 26 振替授業(金) 29 前夜祭 (臨時休業) 29 授業日(木) 28 大 学 祭 1 大学祭撤収日 (臨時休業) 大 学 祭 授業予備日(注) 授業予備日(注) 20 第474一5一履修登録期間 11/18~24 13時ま 入学者選抜試験(推薦) 25 接替授業(火) 26 第2ウォーター履修登録期間 5/26~5/31 13時まで (抽選) 履修登録予備日 授業予備日(注) 6月 3 授業開始(第4 クォーター) (抽選) 履修登録予備日 9 授業開始(第2 クォーター) 履修登録取消申請期間 履修登録取消申請期間 25 冬季休業~1/7 20 22 30 29 授業予備日(注) 14 会場設営 (臨時休業) 13 12 13 大学入学共通テスト 授業予備日(注) 21 振替授業(金) 22 授業日(木) 19 大学入学共通テスト 26 5 オープンキャンパス (看護学科) 6 夏季休業~9/30 オープンキャンパス 授業・定期試験予備日 8月 2月 第1学期定期試験期間 授業予備日(注) 10 11 授業·定期試験予備日 11 教職員夏季一斉休業 第 2 学 期 定 期 試 験 期 間 授業 定期試験予備日 22 24 入試会場設営 入学者選抜試験(前期) 医学科のみ26日まで 9月 29 11 春季休業~3/31 入試会場設営 10 入学者選抜試験(後期) 16 第2学期•第3クォータ-履修登録期間 (毎年3/24) (抽選) 履修登録予備日 30 第1学期終了 30 31 第2学期終了

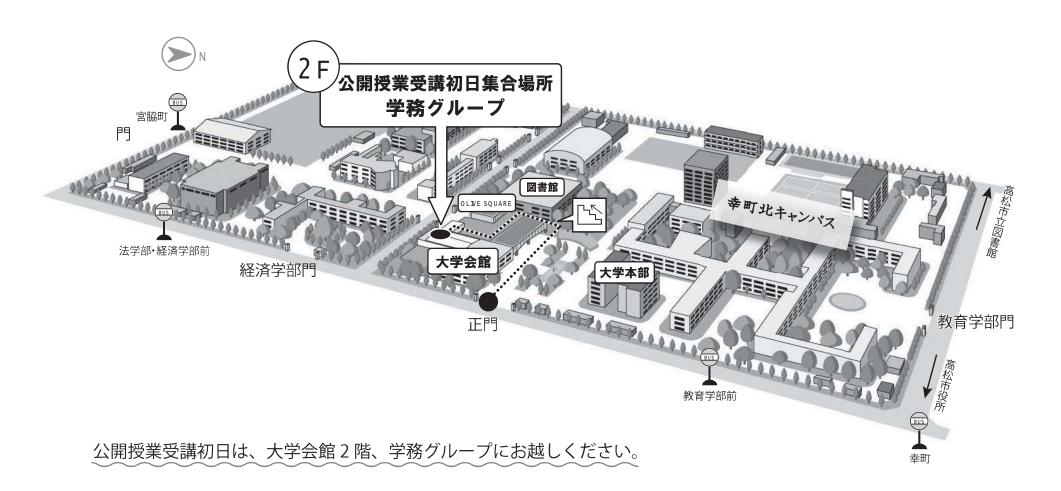
- (注1)4/29(木・祝)及び7/22(木・祝)を授業日、8/9(月・祝)を授業・定期試験予備日とする。
- (注2)土曜日の授業予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。
- (注3)オープンキャンパス:8/5は医学部看護学科、8/6は医学部医学科(午前)・臨床心理学科(午後)・他の学部

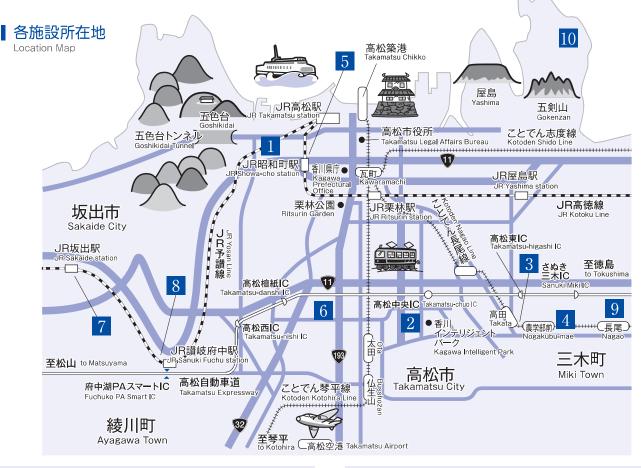
令和3年度行事予定表(法・経済学部夜間主コース)

第2学期 第1学期

<u> **</u>	1子州							<i>7</i> 77 4	2子别						
	日	月	火	水	木	金	±		日	月	火	水	木	金	±
4月		/			1 第1学期開始	2	3 入学式・ガイダンス (毎年4/3)	10月		1 /	1 /			1 第2学期開始 大学記念日	2 新入外国人留学 生ガイダンス
														人子記念口	± 11 19 7A
		5 新入生がイダンス	6 新入生修学相談	7 新入生修学相談会		修登録期間 4/1~4/				4 授業開始(第2学					0
	4	5 和八生』19 78	会 新八生形子相談	新入外国人留学生	8 足朔健康診断 新入生修学相談会 新入生歓迎祭	期)	10		3	期)	5	0	'	8	9
	等。 学期 医放系	侵期間(/BL pa年度)	 大生は4/3~4/7 13時	がイダンス (抽選)	新入生歓迎祭 履修登録予備日										
	11	12	13	14	腹嗲堂郵予備口 15	16	17	l	10	11	12	13	14	15	16
		-										登録取消申請		1.0	
	18	19	20	21	22	23	24	l	17	18	19	20	21	22	23
				消申請期間											
	25	26	27		29 授業日(木)	30	1	l	24	25	26 振替授業(金)	27	28	29 前夜祭	30
														(臨時休業)	大 学 祭
5月	2	3	4	5	6	7 接替授業(水)	8	11月	31	1 大学祭撤収日 (臨時休業)	2	3	4	5	6
									大 学 祭	(臨時休業)					授業予備日(注)
	9	10	11	12	13	14	15	ĺ	7	8	9	10	11	12	13
															授業予備日 (注)
	16	17	18	19	20	21	22	1	14	15	16	17	18	19	20
															入学者選抜試験(推薦)
	23	24	25	26	27	28	29		21	22	23	24	25 振替授業(火)	26	27
							授業予備日(注)								
6月	30	31	1	2	3	4	5	12月	28	29	30	1	2	3	4
				第1学期	定期試験(前	半)期間				第	2 学期定期	式 験 (前 半) 期	間		
	6	7	8	9	10	11	12		5	6	7	8	9	10	11
	10	14	15	16	17	18	19		12	13	14	15	16	17	18
	13	14	15				19		12	13			16]''	18
	20	21	22	23	登録取消申請	期間 25	26		19	20	履修登録取 21	消申請期間	23	24	25 冬季休業~1/7
	20	21	ZZ	23	24	23	20		19	20	21	22	23	24	20 安子//末一//
7月	27	28	29	30	1	2	3	ł	26	27	28	29	30	31	1
l'''	-									-					ľ
	4	5	6	7	8	9	10	1月	2	3	4	5	6	7	8
							授業予備日(注)	``							
	11	12	13	14	15	16	17		9	10	11	12	13	14 会場設営 (臨時休業)	15
							授業予備日(注)							(臨時休業)	大学入学共通テスト
	18	19	20	21 振替授業(金)	22 授業日(木)	23	24		16	17	18	19	20	21	22
									大学入学共通テスト						
	25	26	27	28	29	30	31	İ	23	24	25	26	27	28	29
8月	1	2	3	4	5 オープンキャンパス (看護学科)	6 夏季休業~9/30	7	2月	30	31	1	2	3	4	5
		第 1 学 期	定期試験(後	: 半)期間		オープンキャンパス 試験予備日									授業予備日(注)
	8	9	10 業 定期試験予備		12	13	14		6	7	8	9	10	11	12
				教職員夏	∞ 一 斉 休 業						第2学期] 定期試験(前			
1	15	16	17	18	19	20	21		13	14	15 接替試験(金) 接替授業(金)	16	17	18	19
													業定期試験予備		
1	22	23	24	25	26	27	28		20	21	22	23	24 入試会場設営	25	26
<u>_</u>								_		00	-			入学者選抜試験(前其	B) 医学科のみ26日まで
9月	29	30	31	1	2	3	4	3月	27	28	[1	2	3	4	5
1	E		13			10	11		C	7		9	10	11 本系仕世 ^ ^ ^	10
1	5	ь	1	8	9	10	11	l	b	1'	8	9	10	11 春季休業~3/31 入試会場設営	12
1	12	13	14	15	16	17	18	l	13	14	15	16	17	18	入学者選抜試験(後期)
1	12	10	14	13			10		10	14	15	16	10	10	
1	19	20	21	22	第2学期·第30ォーター履修 23	登録期間 9/16~22 13時	25	l	20	21	22	23	24 卒業式	25	26
1				(抽選)		履修登録予備日							(毎年3/24)		
	26	27	28	(抽選)	30 第1学期終了	加州於亞外川州口		ł	27	28	29	30	31 第2学期終了		
1														I	
	(\$\frac{1}{2}\delta/20(\frac{1}{2}\delta/2	1) Th #177 /00 / + -:	 	 (日・祝)を授業・党	ᄬᄪᆉᄧᄼᄝᄲᇊᄔ] + 7		Щ						ı	

香川大学幸町キャンパスマップ





1 幸町キャンパス Saiwai-cho Campus

教育学部/法学部/経済学部/地域マネジメント研究科/創造工学部 Education/Law/Economics/Graduate School of Management/Engineering and Design

IR高松駅から

- (6) 松歌かり

 ●JR高徳線[昭和町駅」下車。徒歩5分

 ●ことでんバス [11] 下笠居線(昭和町経由便)で「幸町」下車。徒歩2~3分

 ●ことでんバス [13] 下笠居線(宮脇町経由便)または

 [15] 香西線(宮脇町経由便)で「宮脇町」下車。徒歩2~3分

 ●ことでんバス (まちなかルーブバス)で「香川大学教育学部前」または
 「香川大学法学部・経済学部前」下車。徒歩1分

 ●本本の40人
- ●車で約10分

- 高速道路から ●東方面よりお越しの場合…高松中央IC(高松道)から車で約20分
 - ●西方面よりお越しの場合…高松西IC(高松道)から車で約20分

- From JR Takamatsu station

 Take JR Kotoku Line and get off at Showa-cho station, and then 5 minutes walk to the campus.

 Take Kotoden Bus No.11 Shimokasai Line (via Showa-cho) and get off at Saiwai-cho bus stop, and
 - then 2-3 minutes walk to the campus

 Take Kotoden Bus No.13 Shimokasai Line (via Miyawaki-cho) or No.15 Kouzai Line (via
 - Miyawaki-tho) and get off at Miyawaki-tho bus stop, and then 2-3 minutes walk.

 Take Kotoden Bus (Machinaka Loop Bus) and get off at Kagawa Daigaku Kyouikugakubu-mae bus stop or Kagawa Daigaku Hogakubu Keizaigakubu-mae bus, and then 1 minute walk to the
 - Approximately 10 minutes by car

- Proproximately to infinitely of on the express way
 From the east: Approximately 20 minutes from Takamatsu-chuo Interchange at Takamatsu Proint the east. Approximatery 20 minutes from Takamatsu-endo Interchange at Takamatsu Highway From the west: Approximately 20 minutes from Takamatsu-nishi Interchange at Takamatsu Highway
- •F

2 林町キャンパス Hayashi-cho Campus

創造工学部 Engineering and Design

JR高松駅から

- 高松駅から ●ことでんバス [65] 川島線(レインボー通り経由便)で「香川大学創造工学部前」下車すぐ ●ことでんバス [61] 川島線[サンメッセ香川]下車。徒歩10~15分 ●ことでんバス [63] サンメッセ西植田線で「サンメッセ香川」下車。徒歩10~15分 ●ことでん琴平線で「ことでん高松楽港駅」→「太田駅」下車。

- 「太田駅」からことでんバス太田駅サンメッセ線で「香川大学創造工学部前」下車すぐ ●車で約20分

高速道路から

●高松中央IC(高松道)から車で約5分

From IR Takamatsu station

- From JR Takamatsu station

 Take Kotoden Bus No.65 Kawashima Line (via Rainbow-dori) and get off at Kagawa Daigaku Sozo Kogakubu mae bus stop that is just in front of the campus.

 Take Kotoden Bus No.61 Kawashima Line and get off at SunMesse Kagawa bus stop, and then 10-15 minutes walk to the campus.

 Take Kotoden Bus No.63 SunMesse Nishi Ueta Line and get off at SunMesse Kagawa bus stop, and then 10-15 minutes walk to the campus.

 Take Kotoden Rus No.63 SunMesse Nishi Ueta Line and get off at SunMesse Kagawa bus stop, and then 10-15 minutes walk to the campus.

 Take Kotoden Kotohira Line at Kotoden Takamatsu Chikko station and get off at Ota station, and then take Kotoden Bus Ota-eki SunMesse Line and get off at Sozokogakubu mae bus stop that is just in front of the campus.

 Approximately 20 minutes by car

From the express way
Approximately 5 minutes from Takamatsu-chuo Interchange at Takamatsu Highway

3 三木町医学部キャンパス Miki-cho Campus

医学部 Medicine

JR高松駅から

- ●ことでん長尾線で「ことでん高松楽港駅」→「高田駅」下車。 「高田駅」からことでんパスで5分、「大学病院」下車すぐ。 ●ことでんパス【75】大学病院線で「大学病院」で下車すぐ。
- ●車で約30分

高速道路から

- ●東方面よりお越しの場合…さぬき三木IC(高松道)から車で約5分
- ●西方面よりお越しの場合…高松東IC(高松道)から車ですぐ

- From JR Takamatsu station

 Take Kotoden Nagao Line at Kotoden Takamatsu Chikko station and get off at Takata station, and then take Kotoden bus 5 minutes from the Takata station and get off at Daigaku Byouin mae bus stop that is just in front of the campus.

 Take Kotoden Bus No.75 Daigaku Byouin Line and get off at Daigaku Byouin mae bus stop that
- is just in front of the campus.

 Approximately 30 minutes by car.

From the express way

- ●From the east: Approximately 5 minutes from Sanuki Miki Interchange at Takamatsu Highway ●From the west: Nearby Takamatsu higashi Interchange at Takamatsu Highway

4 三木町農学部キャンパス Miki-cho Campus

農学部 Agriculture

JR高松駅から

- ●車で約40分

高速道路から

- ●東方面よりお越しの場合…さぬき三木IC(高松道)から車で約10分●西方面よりお越しの場合…高松東IC(高松道)から車で約5分

- From JR Takamatsu station

 Take Kotoden Nagao Line at the Kotoden Takamatsu Chikko station and get off at Nougakubumae station, and then 2-3 minutes walk to the campus.

 Take Okawa Bus Hiketa Line and get off at Nogakubu mae bus stop, and then 5 minutes walk to
- the campus.

 •Approximately 40 minutes by car

- off the express way

 ◆From the east: Approximately 10 minutes from Sanuki Miki Interchange at Takamatsu Highway

 ◆From the west: Approximately 5 minutes from Takamatsu-higashi Interchange at Takamatsu
- 教育学部 附属高松小学校 附属幼稚園高松園舎

Takamatsu Elementary School Takamatsu Kindergarten

教育学部 附属高松中学校

Takamatsu Junior High School

教育学部 附属坂出小学校 附属坂出中学校 附属幼稚園

Sakaide Elementary School Sakaide Junior High School Kindergarten

教育学部 附属特别支援学校

School for Special Needs' Students

農学部附属農場 University Farm

10 庵治マリンステーション

Aii Marine Station

高校生を対象とした公開授業及び体験授業に係る受講生・保護者連絡先

受 講 生 氏 名	
受講生電話番号	
受講生メールアドレス	
保 護 者 氏 名	
保護者連絡先	

※携帯等のメールアドレスは大学(パソコン)からのメールが届かない可能性もありますので、パソコンや Web のアドレスをお持ちでしたら、携帯等のアドレスと併せてご記載ください。

香川大学から受講決定の通知がありましたら、受講初日にこの用紙と受講料をお持ちください。(公開授業は1科目につき、「15及び16回の授業は2,300円」、「8回の授業は1,800円」。体験授業は無料。)

なお、上記の個人情報は、香川大学が高校生対象公開授業及び体験授業の実施に当たり必要な範囲において利用させていただきます。それ以外の目的に利用することはありません。